

首里高等学校 令和5年度 英語コミュニケーションⅠ(1学年) シラバスおよび評価基準

科 目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3	学年	1学年(普通科、染織デザイン科)
使用教科書	(177増進堂 CI720) FLEX English Communication Ⅰ				
副教材	FLEX English Communication Ⅰ 予習&授業ノート				

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
---------	---

評価の観点

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
関係副詞や分詞構文など、本書で学習する文法に加えて、語彙や表現など、用法や意味を理解している。また本書を通して学習する社会的、文化的な内容について、簡単な語句や文で示された内容の要点を捉えたり、自身の考えや意見を簡単な語句や文を使用して、発信したりする技能を身につけている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、内容の要点を捉えている。また、また、聞いたり読んだりして理解した内容を、学習した文法や表現、簡単な語句を用いて、聞き手や話し手、書き手を意識し、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、主体的に理解しようとしている。 また、聞いたり読んだりして理解した内容を、主体的に英語を用いながら聞き手や話し手、書き手に配慮しようとしている。それに基づいて、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。

月	章	授業時数	授業進行案	指導のポイント(評価のポイント)	考查範囲
4	Reading Skill 1,2,3	※	①pp. 8-10	・Reading で用いる技能を本課に入る前の準備として適宜理解させる。	
4	Communication Skill	※	①p.14	・Softener と呼ばれるコミュニケーションを円滑にするテクニックを理解させる。	
4	Starting Lesson	5	①Introduction / Words / 本文 ②本文/ Comprehension Questions ③Final Task	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・うなりくんやひこにゃんとはどのようなキャラクターなのか、特徴や背景などを理解させる。 ・自分なりにキャラクターを考案し、街や地域の魅力と関連づけて紹介させる。	
4	Lesson 1	6	①Listening / Questions / Part 1 (pp.16-17) ②Part 2 (pp.18-19) ③Part 3 (pp.20-21) ④Comprehension, Grammar & Exercises ⑤Final Task / Rapid Reading	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・松岡修造氏に対して我々が持っているイメージと実際のギャップを読み取らせる。 ・松岡修造氏の金言に込められた思いを読み取らせる。 ・松岡修造氏から高校生へと向けられたメッセージの意味を理解させる。 ・「助動詞」「to+不定詞」の表現を理解させる。 ・自分なりのフレーズを考え、そこに込めた思いや意図を他の生徒に説明させる。 ・速読しながら、True or False を解かせる。	
5	Reading Skill 4,5	※	①pp. 27-28	・英語の句と節の考え方を理解させる。 ・語句や節同士を繋ぐ and, but, or の働きを認識させる。	

5	Lesson 2	8	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.30-31) ②Part 2 (pp.32-33) ③Part 3 (pp.34-35) ④Part 4 (pp.36-37) ⑤Comprehension, Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・大学教授の学生たちに見せたジャーの実践が何を意味しているのかを自分なりに推察させる。 ・ジャーの中に入れられる泥、砂、石がそれぞれ何を表しているのかを読み取らせる。 ・ジャーの中に泥、砂、石を入れていく正しい順番について読み取らせる。 ・高校生活における泥、砂、石は何なのかを考えさせる。 ・「動名詞」「間接疑問文」の表現を理解させる。 ・自分にとっての泥、砂、石がそれぞれ何かを考え、それをグループで共有させたり、プレゼンさせたりする。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	1 学 期 中 間 考 査
6	Reading Skill 6	※	①p.44	・指示や代用、言い換えの表現について理解させる。	
6	Lesson 3	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.46-47) ②Part 2 (pp.48-49) ③Part 3 (pp.50-51) ④Part 4 (pp.52-53) ⑤Comprehension, Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・環境にやさしいエネルギーが持つ問題点を読み取らせる。 ・SSPS計画とは、どのような計画かを理解させる。 ・その計画にはなぜ資金が莫大にかかるのか、問題点を読み取らせる。 ・JAXAが困難な計画にもかかわらず、実現を諦めない理由を理解させる。 ・「後置修飾」「現在完了形」の表現を理解させる。 ・宇宙開発のポジティブな側面、ネガティブな側面を検討し、グループで話し合わせたり、話し合った内容を発表させたりする。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	1 学 期 期 末 考 査
6	Reading Skill 7	※	①p.60	・5文型では区別しにくい、注意すべき文型を理解させる。	
7	Lesson 4	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.62-63) ②Part 2 (pp.64-65) ③Part 3 (pp.66-67) ④Part 4 (pp.68-69) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・マララがどのような環境下で生まれ育ったかを読み取らせる。 ・マララが10歳のときに故郷で起きた出来事について理解させる。 ・思いを伝えるためにとったマララの行動を読み取らせる。 ・教育を受けたいという、マララの願いを理解させる。 ・「関係代名詞」「過去完了形」の表現を理解させる。 ・マララのスピーチを聞いて、その内容を理解させる。 ・「教育が唯一の解決策である」という言説に対して自分なりの意見を発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	
7	Reading Skill 8	※	①p.76	・物語文の読み方を身につけさせる。	
7(8)	Optional. 1	6	①p. 77→②p. 78→③p. 79→④p.80	・登場人物の気持ち、行動を正確に読み取らせる。	
9	Lesson 5	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.82-83) ②Part 2 (pp.84-85) ③Part 3 (pp.86-87) ④Part 4 (pp.88-89) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・富士山の特徴や日本文化への影響を読み取らせる。 ・富士山へ登るのは、どのような歴史的な背景があったかを読み取らせる。 ・富士山がどんなものに影響を与えたかを理解させる。 ・浮世絵師の作品はどのような部分に影響があったかを読み取らせる。 ・「使役動詞」「節を導く形式主語it」の表現を理解させる。 ・世界遺産を1つ選んで調べさせ、その内容をシートにまとめて発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	

10	Lesson 6	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.98-99) ②Part 2 (pp.100-101) ③Part 3 (pp.102-103) ④Part 4 (pp.104-105) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・『きかんしゃトーマス』という作品の概要を読み取らせ、SDGsが取り入れられるに至った流れを理解させる。 ・SDGsの概要について読み取らせ、『きかんしゃトーマス』に取り入れられた6つのゴールについて理解させる。 ・SDGsが取り入れられた『きかんしゃトーマス』の各エピソードの概要を把握させる。 ・子ども向けのアニメーション作品にSDGsが取り入れられたことの意義を理解させる。 ・「関係代名詞what」「強調構文It is ...that ~」を理解させる。 ・SDGsの17のゴールから1つを選び、それに関連したスキットを作成し、グループで演じさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	2 学 期 中 間 考 査
10	Reading Skill 9	※	①p.112	・パラグラフの構成を理解させ、論説文の読み方を身につけさせる。	
11	Lesson 7	10	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions ②Part 1 (pp.114-115) ③Part 2 (pp.116-117) ④Part 3 (pp.118-119) ⑤Part 4 (pp.120-121) ⑥Comprehension / Grammar & Exercises ⑦Grammar & Exercises ⑧Final Task ⑨Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・「仮想水」とは何か読み取らせる。 ・日本が仮想水を多く使用しているその背景を理解させる。 ・日本がさまざまな国から食べ物を輸入している原因を読み取らせる。 ・どれくらいの量の輸入食品を浪費しているか読み取らせる。 ・「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞」の表現を理解させる。 ・自宅での水の使用量に注目させ、どうすれば使用量を減らせるのかを自分なりに検討させた上で、ペアやグループで考えを共有させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	2 学 期 期 末 考 査
11	Listening Skill 1	※	p.128	・英語の自然な流れの中で起こる音の変化を理解し、身につけさせる。	
12	Lesson 8	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.130-131) ②Part 2 (pp.132-133) ③Part 3 (pp.134-135) ④Part 4 (pp.136-137) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・山海教授が開発したHALと呼ばれるロボットについて読み取らせる。 ・日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考えさせる。 ・山海教授がロボットに興味を持ったきっかけと、HALを作るまでの過程を読み取らせる。 ・山海教授がロボットの研究に勤む上で、持ち続けている信念について読み取らせる。 ・「仮定法過去」「仮定法過去完了」の表現を理解させる。 ・ロボットのメリットやデメリットについて考えさせる。 ・自分のオリジナルのロボットを考案させ、メリットやデメリットに触れながら発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	
12	Optional 2	6	①p. 144→②p. 145→③p. 146→④p. 147	・論説文特有の構成に注意しながら、事実や出来事を正確に読み取らせる。	
12	Listening Skill 2	※	①p.148	・英語の自然な流れの中で起こる音の変化を理解し、身につけさせる。	
1	Lesson 9	9	<ul style="list-style-type: none"> ①Listening / Questions / Part 1 (pp.150-151) ②Part 2 (pp.152-153) ③Part 3 (pp.154-155) ④Part 4 (pp.156-157) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・「バイオミクリー」とは何か読み取らせる。 ・ハスの葉をヒントにできたものは何か考えさせる。 ・蚊の血を吸う行動から、どのような物が開発されたかを読み取らせる。 ・バイオミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを読み取らせる。 ・「知覚動詞」「分詞構文」の表現を理解させる。 ・バイオミクリーによってどんな製品を生み出すことができるかを検討させ、グループなどで共有させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 	

1	Listening Skill 3	※	p.164	・英語のストレス・パタンを理解させ、より英語らしいリズムで発音する技術を身につけさせる。	
2	Lesson 10	10	①Listening / Questions / Part 1 (pp.166-167) ②Part 2 (pp.168-169) ③Part 3 (pp.170-171) ④Part 4 (pp.172-173) ⑤Comprehension / Grammar & Exercises ⑥Grammar & Exercises ⑦Final Task ⑧Final Task / Rapid Reading	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ドナルド・キーンとはどのような人物か、また彼は日本文学を世界にどのように広めたかを読み取らせる。 ・ドナルド・キーンがどのようなきっかけで日本文学と出会ったかを読み取らせる。 ・ドナルド・キーンが日本の人々に同情したのは、どのような出来事があったのか理解させる。 ・ドナルド・キーンに対し、日本はどのようなことをしたのかを読み取らせる。 ・「前置詞+関係代名詞」「完了進行形」を理解させる。 ・物語の感想文の構成を理解させ、自分のお気に入りの作品についてクラスで共有させる。 ・速読しながら、True or False を解かせる。	3 学 期 末 考 査
2	Listening Skill 4	※	p.180	・英語のストレス・パタンを理解させ、より英語らしいリズムで発音する技術を身につけさせる。	
2	分野別 Hot Topics	※	pp.181-186	・様々な分野の重要な話題の基礎知識を身につけさせる。	

【評価の方法】

次の観点から総合的に評価する。

- 日常の授業態度
- 発問に対する回答の評価
- さまざまな活動におけるパフォーマンスの評価
- 課題等の提出状況
- 評価問題・定期考査